

埼玉医科大学病院ニュース

第 84 号



ゆい

患者さんと医療者を結ぶ情報誌

CONTENTS

ページ 2

座右の銘

リウマチ膠原病科診療部長紹介

リウマチ膠原病科 診療部長 秋山雄次

ページ 3

私の専門

ページ 4 ~ 5

私たち（診療科全体）が大切にしていること
こんな症状ありませんか？

ページ 6 ~ 8

リウマチ膠原病科 治療・業務紹介

ページ 9 ~ 10

ちょっとためになる栄養の話

ページ 11

令和 7 年度 全県訓練

ページ 12

ロビーコンサート

第 14 回 埼玉医科大学病院市民公開講座

ページ 13

アスリート通信

埼玉医科大学グループ アスリートクラブ

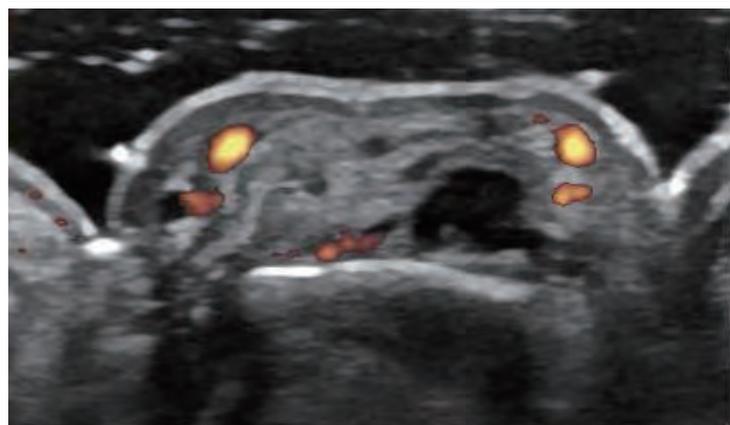
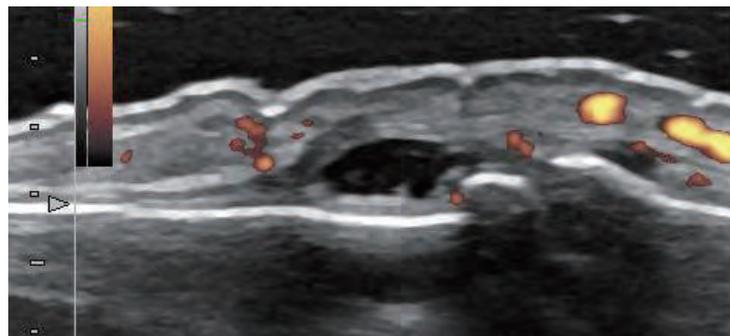
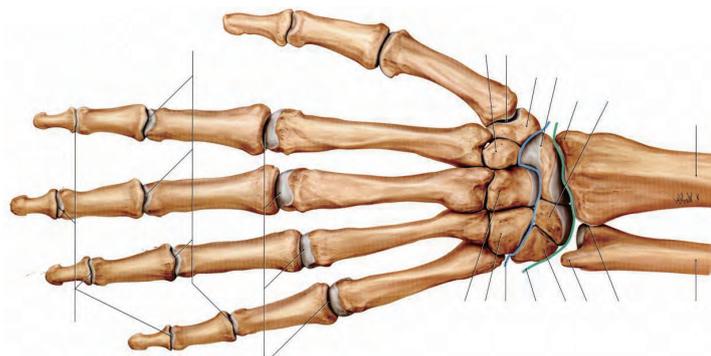
ページ 14

基本理念

外来受診のご案内

新型コロナウイルス感染症に対する対応

外来駐車場のご案内



合言葉は
あなたの幸せが
私たちの幸せです

Your
HAPPINESS
Is Our
HAPPINESS



座右の銘

言い訳はிரない、
ただ全力を尽くせ

リウマチ膠原病科 診療部長

あきやま ゆうじ
秋山 雄次

プロフィール
山梨県富士吉田市出身
埼玉医科大学
日本リウマチ学会専門医、日本内科学会総合内
科専門医、日本アレルギー学会専門医、日本東
洋医学会専門医

医師として大切にしていること

十代の頃、青二才だった私は、中途半端な自分が嫌になり、そのことを深く反省しました。本学に入学後少しずつ努力するようになりました。医師になってからも人並みに精進をしてきたつもりでした。

座右の銘は、留学先のカンファランスでの恩師 Steinman 教授（2011 年ノーベル賞受賞）の言葉です。その日、声の調子が悪かったので、一言詫びを入れてから研究発表を開始した際のボスの言葉です。その時は言い訳のつもりなど更々なかったので、その真意を説明してから発表を開始しました。今では良く判ります。そんな御愛想は不要で、ただ全力を尽くせば良かったのです。また、大学から7年間赤十字病院へ出向していた時には、“人間到る処青山あり”と、折りに心で唱えながら頑張りました。

患者さんへは優しい医療を提供することを修行時代から心がけモットーとしてきました。慕っている

前教授が誠実な医療を掲げ、我々を指導していただきましたので、最近は“誠実で優しい医療”をモットーとしています。

長いお付き合いとなる患者さんが少なくありません。許される場面では頭でなく心で会話をしたいと思います。

私の専門



秋山雄次（あきやま ゆうじ）

診療部長 教授

専門分野：リウマチ性疾患、膠原病、アレルギー学、漢方治療

資格（専門医等）：総合内科専門医・指導医、リウマチ専門医・指導医、アレルギー専門医、東洋医学会専門医

趣味：身体を動かすこと、温泉



舟久保ゆう（ふなくぼ ゆう）

診療副部長 教授

専門分野：リウマチ性疾患、膠原病、動脈硬化症、母性内科

資格（専門医等）：総合内科専門医・指導医、リウマチ専門医・指導医



梶山 浩（かじやま ひろし）

外来医長 講師

専門分野：リウマチ学・腎臓病学、臨床免疫学

資格（専門医等）：総合内科専門医、リウマチ専門医・指導医、腎臓専門医・指導医

リウマチ性疾患の診断・治療とともに腎疾患の診断・治療にも全力を尽くします。患者さん一人お一人のお話を丁寧に伺って診療いたします。



矢澤宏晃（やざわ ひろあき）

病棟医長 助教

専門分野：リウマチ性疾患、膠原病

資格（専門医等）：総合内科専門医・指導医、リウマチ専門医・指導医

趣味：ウイスキーを愛でること、ゲーム



荒木靖人（あらかし やすと）

研究主任 教授

専門分野：リウマチ性疾患、膠原病、免疫学

資格（専門医等）：総合内科専門医・指導医、日本リウマチ学会専門医・指導医

リウマチ膠原病科で治療する疾患の多くは免疫異常から起こると考えられますが、病態についてはいまだ不明な事が多いため少しでも解明できればと考えています。



横田和浩（よこた かずひろ）

院長補佐 教授

専門分野：関節リウマチ、膠原病

資格（専門医等）：総合内科専門医・指導医、リウマチ専門医・指導医、

日本リウマチ学会登録ソノグラファー、免疫療法認定医

最新の医学知見を診療に生かし、患者さん一人ひとりに寄り添った医療と、信頼される大学病院づくりに貢献していきたいと考えています。

私たち（診療科全体）が大切にしていること

私たちリウマチ膠原病科は、あらゆるリウマチ性疾患に対応し、患者さんやご家族のお気持ちを大切にしてお最適な診療を行なうよう努力します。誠実で優しい医療を実践しています。都合の悪いことも包み隠さず開示する所存です。

病気についての詳しい聞き取りや全身の診察が重要なので、怠らず実践します。患者さんごとに異なる病態を把握させて頂いた上で治療いたします。幾つもの臓器が障害されることが少なくないので関連した専門の診療科と連携を行なうことも重要でカンファレンスを含め実践しています。エビデンスに基づく診療を心がけ、最先端の治療も積極的に取り入れています。重症患者さんの診療も厭わないため県内各地はもちろん、県外からも患者さんが紹介されてきますので、全力で取り組みたいと思います。希望者には東洋医学的治療も行っています。長いおつき合いが必要となりますので良好な人間関係の構築にも十分配慮しています。

研究面では、NinJa（関節リウマチ）、LUNA（全身性エリテマトーデス）、ANCA 関連血管炎の多施設共同研究に参加し、関節リウマチと全身性エリテマトーデスにおける腎障害の臨床研究や、ANCA 関連疾患におけるリツキシマブの維持療法の有用性を調査しています。また、ポドサイト細胞株、関節リウマチの関節滑膜線維芽細胞、関節リウマチ由来の破骨細胞を用いた基礎研究を進めています。

こんな症状ありませんか？

症状	症状に関する説明・対応	左記対応外来名 (該当時)	対応医師名
関節の痛み、腫れ、発赤、熱感、変形など	痛み、腫れ、発赤、熱感、は、炎症の4つの特徴です。関節に炎症が長く続くと、軟骨や骨が破壊され関節の変形に至ります。加齢により、炎症の少ない関節の痛みと変形も起こります。このような関節の症状や原因を明らかにして、治療方針を決定します。	月曜～土曜日 午前新患外来 (南館1階)	
筋肉の痛み・押すと痛む、筋力が急に弱くなった	筋肉の痛みや押したときの痛み、急な筋力低下がみられる場合、筋肉の炎症や自己免疫疾患、全身性の病気が関与していることがあります。階段の上り下りがつらい、腕が上がりにくいといった症状に加え、発熱や倦怠感、皮疹を伴うこともあります。診察では問診や身体診察に加え、血液検査や画像検査(MRIなど)を行い、必要に応じて筋電図や筋生検を行って原因を詳しく調べます。検査結果に基づき適切な治療や経過観察を行います。	月曜～土曜日 午前新患外来 (南館1階)	月曜日：秋山雄次 火曜日：吉田佳弘 水曜日：横田和浩 木曜日：矢澤宏晃 金曜日：梶山 浩 土曜日：荒木靖人
顎や耳下(耳下腺・顎下腺)、リンパ節が腫れる	顎や耳下、リンパ節が腫れる場合、膠原病や全身性の病気が関係していることもあります。痛みや発熱を伴うこともあれば、症状が乏しい場合もあります。腫れが長引く、繰り返す、発熱や倦怠感を伴う場合には、早めの受診が大切です。診察では問診や触診に加え、血液検査や画像検査(エコー、CT)を行い、必要に応じてリンパ節や唾液腺の生検を行うことで、原因を詳しく調べます。検査結果に基づき、適切な治療や経過観察を行います。	月曜～土曜日 午前新患外来 (南館1階)	

症状	症状に関する説明・対応	左記対応外来名 (該当時)	対応医師名
原因不明の発熱が続く	膠原病では最初の症状が発熱であることがあります。また、治療が不十分な場合、熱が出る場合があります。病気の勢いが強い場合には高熱になることもあります。1日の内で高くなったり低くなったりする疾患もあります。感染症や悪性腫瘍など膠原病以外でも熱が出る病気がありますので解熱しない場合は精査が必要なので医療機関への受診してください。	月曜～土曜日 午前新患外来 (南館1階)	
口が乾く、 涙が出にくい	目の乾燥、口腔乾燥などの乾燥症状が続く場合、涙腺、唾液腺などの腺組織が慢性的な炎症により障害される全身性の自己免疫疾患による場合があります。診断のためには涙や唾液の分泌量を調べ、血液検査、画像検査、唾液腺の組織をとって炎症細胞の存在を確認する検査を行います。乾燥症状に対しては対症療法となりますが、腺組織以外の臓器障害や、他の疾患を合併している場合は適切な薬物療法が必要となります。	月曜～土曜日 午前新患外来 (南館1階)	4月からの 体制です
寒冷刺激で指先が蒼白 になる(レイノー現象)	発作性に手足の指先が蒼白になる事をレイノー現象と呼びます。これは四肢末梢の血流が低下する事により起こります。寒冷刺激やストレスで起こりやすく、典型的には皮膚が白色から紫色となり、血流の回復とともに通常の皮膚の赤色に戻ります。原因不明のレイノー病や振動病、膠原病などの病気から起こることがあります。全身性強皮症や混合性結合組織病でよく見られます。レイノー現象が疑われましたら膠原病などの原因精査をおすすめします。	月曜～土曜日 午前新患外来 (南館1階)	
赤い斑点や発疹がでる	膠原病では紅斑と呼ばれる紅や桃色の斑点や紫斑、しもやけのような紅斑、蕁麻疹のような皮疹が出る場合があります。	月曜～土曜日 午前新患外来 (南館1階)	
妊娠希望あるいは妊 娠中のリウマチ膠原 病患者さん	難病センターの母性内科外来では慢性疾患をもちながら妊娠を希望する女性を、妊娠前から妊娠中、産後まで内科医の立場で管理を行い、より良い状態で妊娠・出産ができるようサポートします。妊娠前の健康状態を評価し、妊娠と病気の治療を両立できるように計画的な妊娠をすすめ、慢性疾患の治療と薬の調節を行います。また妊娠したら、当院の産科医師と連携しながら妊娠中に発症した疾患(妊娠合併症)の内科的管理や妊娠中～授乳中の薬の調節を行います。	母性外来(東館 難病センター) 木曜日 (月1回、不定期)	舟久保ゆう

リウマチ膠原病科

当科の源流は古く大島良雄初代院長・当院第二内科教授が診療を立ち上げました。当時、膠原病を専門に診療している科が存在したのは、東京大学附属病院、順天堂医院、慶応大学病院など限られた大学病院のみでした。1995年にリウマチ膠原病科として独立し鈴木輝彦先生が基礎を作り、2002年6月三村俊英先生が着任し現在の形に発展させました。2024年4月より秋山が診療部長を勤めています。関節リウマチを含めた膠原病類縁疾患の診療や研究を行っています。



リウマチ性疾患とは

全身臓器・血管や筋骨格・関節系の領域における炎症性および非炎症性疾患を含む疾患の総称で、倦怠感、こわばり、痛み、機能障害を起こします。リウマチ（ロイマ）という言葉や概念は流れを意味し、古代ギリシャに由来します。悪い体液が滞り、その場所の痛みや変調を引き起こすものと考えられていました。

膠原病とは

心筋梗塞や胃潰瘍など個々の臓器が障害されるのではなく、身体の結合組織や血管に病変を持つ病気の総称を1942年にKlemperer博士は膠原病と名づけました。膠原繊維や血管に変性・壊死を起こし、一つの臓器だけでなく身体のいろいろな場所に障害を引き起こします。原因として自己免疫が関係します（自己免疫疾患）。本来は自分の防御に働くべき免疫系が反乱を起こして自身の体を攻撃するために引き起こされる病気です。膠原病の多くはリウマチ性疾患にも属します。

主な症状

- ・関節の症状（腫脹、発赤、疼痛、熱感、機能障害など）が続く
- ・筋肉の症状（筋痛、脱力、筋圧痛など）が続く
- ・リンパ節が腫れる
- ・原因不明の発熱が続く
- ・発疹がでる
- ・日光に当たると熱がでたり火傷のようなになる（光線過敏症）
- ・あざができやすい。出血しやすい
- ・寒冷刺激で指先が蒼白になる（レイノー現象）
- ・四肢末端が紫色になる、皮膚壊疽ができる
- ・脱毛傾向がある
- ・口が乾く（ドライマウス）、涙が出にくい（ドライアイ）
- ・血液検査で白血球、赤血球、血小板、血沈値に異常がある
- ・血液検査で抗核抗体やリウマトイド因子が陽性である
- ・高ガンマ-グロブリン血症、ZTT、TTTが上昇している
- ・血液検査で尿酸値が高い



手指の変形



蝶型紅斑

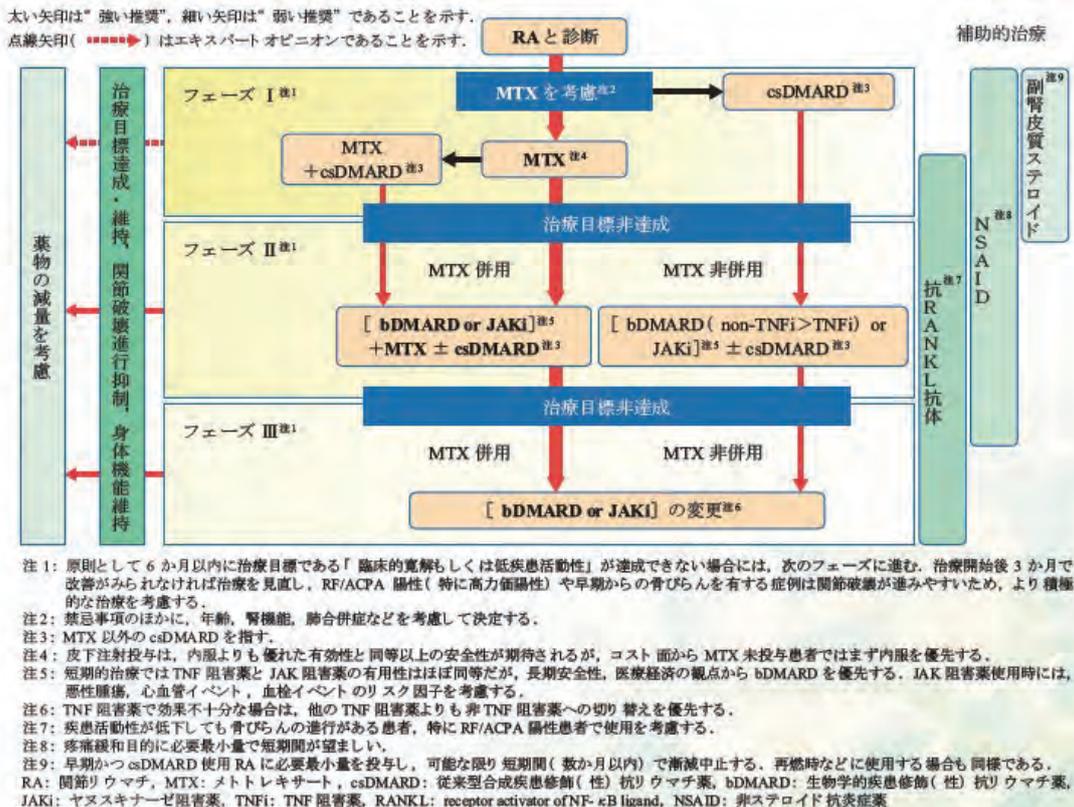
主な疾患

- ・関節リウマチ、悪性関節リウマチ
- ・全身性エリテマトーデス
- ・全身性強皮（硬化）症
- ・多発性筋炎・皮膚筋炎などの炎症性筋疾患
- ・シェーグレン病
- ・混合性結合組織病
- ・血管炎症候群（高安病、巨細胞性血管炎、結節性多発動脈炎、ANCA 関連血管炎他）
- ・その他のリウマチ性疾患（成人スチル病、リウマチ性多発筋痛症、ベーチェット病、IgG4 関連疾患など）
- ・脊椎関節炎（強直性脊椎炎、乾癬性関節炎、反応性関節炎）
- ・痛風、その他の慢性関節炎一般
- ・アレルギー性疾患（特に薬物アレルギー）

治療

治療は疾患によって異なります。また、同じ疾患でも個々の症状や合併症が異なるため患者さんごとに異なります。全体的に炎症や免疫をコントロールするために糖質コルチコイド^⑨（副腎皮質ステロイド）を使用する疾患が多いです。また、糖質コルチコイドの効果を上げるためや、投与量を減らすために免疫抑制薬を併用することが多いです。代表的な疾患である関節リウマチと全身性エリテマトーデスのガイドラインを示します。

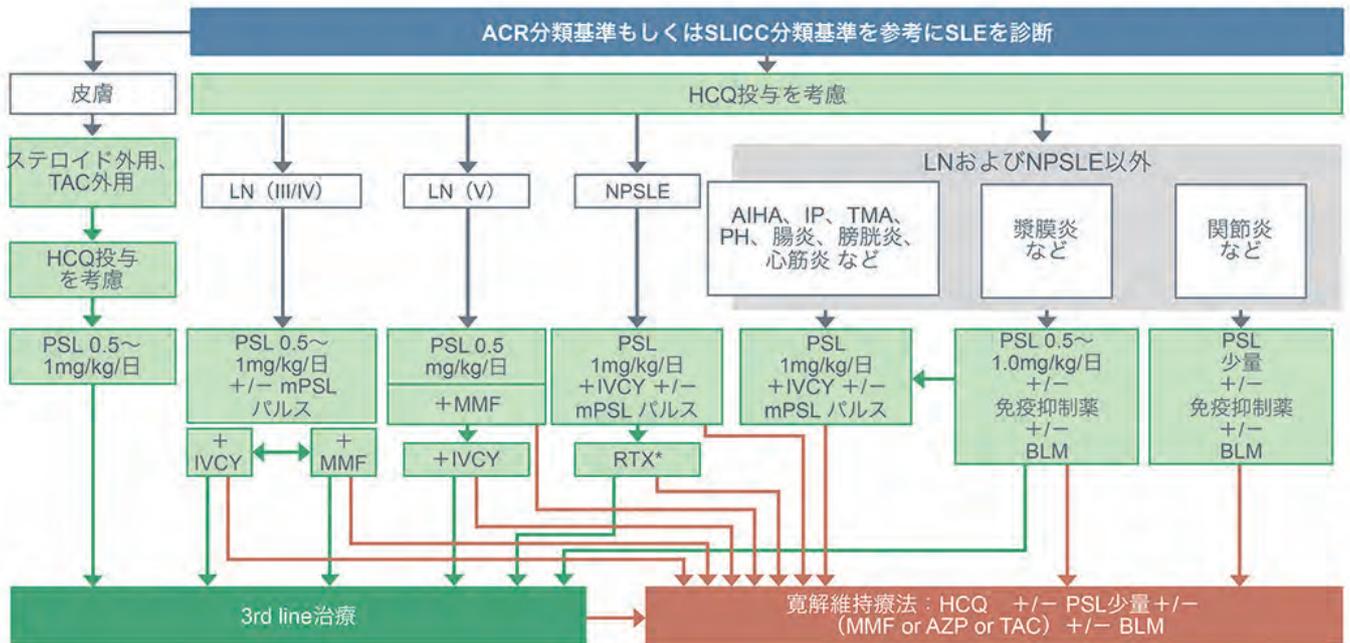
関節リウマチ診療ガイドライン 2024 改訂 薬物治療アルゴリズム



SLE診療のアルゴリズム

—SLE診療ガイドライン2019—

→ : 効果不十分・無効 → : 寛解



厚生省 自己免疫疾患に関する調査研究（自己免疫班）、日本リウマチ学会 編：全身性エリテマトーデス診療ガイドライン2019

腎症を発症した場合は、腎臓内科に腎生検を依頼し腎障害の原因を精査します。3ヶ月に1度、腎臓内科との合同カンファレンスを行い症例ごとの腎障害の発症機序、治療方針について議論します。呼吸器内科とも月に1度、合同カンファレンスにて行い肺障害を合併した問題症例の診断や治療方針を議論しています。



妊娠を希望される膠原病・リウマチ性疾患の患者さんへ

埼玉医科大学病院難病センターの母性内科診療部では慢性疾患をもちながら妊娠を希望する女性を、妊娠前から妊娠中、産後まで内科医の立場で管理を行い、より良い状態で妊娠・出産ができるようサポートします。母性内科は、慢性疾患をもつ女性が安心して妊娠と病気の治療を両立できるように計画的な妊娠をすすめ、妊娠前の健康状態を評価し、慢性疾患の治療と薬の調節を行う診療科です。また、妊娠された場合には、当院の産科医師と連携しながら妊娠中に発症した疾患（妊娠合併症）の内科的管理や妊娠中～授乳中の薬の調節を行います。

乾癬性関節炎・脊椎関節炎の患者さんへ

リウマチ膠原病科のみならず、整形外科、皮膚科にも関わる疾患群であり、3診療科の連携が不可欠です。当院では難病センター脊椎関節炎外来において、脊椎関節炎チーム（当科担当：和田 琢、火曜日・要予約）を整形外科・皮膚科とともに結成し、「日本初」の1人の患者さんを3科の専門医が同時に診療する体制で、診断および治療方針を決定しています。



ちょっとためになる 栄養の話

栄養部

～気になる栄養

カルシウム～～

カルシウムはナトリウムやカリウム等と同様、体内に多く存在する多量ミネラルの1つで、その約99%は骨や歯に存在し、残りの1%程度が血液中に存在します。

骨は骨吸収（骨から血液へカルシウムが溶出される事）と骨形成（カルシウムの骨への沈着）が少しずつ行われて、日々リフレッシュしています。

また成長期は骨量が増える時期でもあり、必要量がアップします。

カルシウムは小腸で吸収されますが、成人で25-30%程度と吸収率の低い栄養素で、2025年度版日本人の食事摂取基準によると不足している栄養素と言われています。



《カルシウムを多く含む食品》

カルシウムは乳製品や小魚に多く含まれるイメージがあると思いますが、野菜にも意外と多くのカルシウムが含まれます。

乳製品が吸収が良く効率的ですが、たくさん摂るとコレステロールの上昇や体重管理には悪影響を及ぼすことがあります。

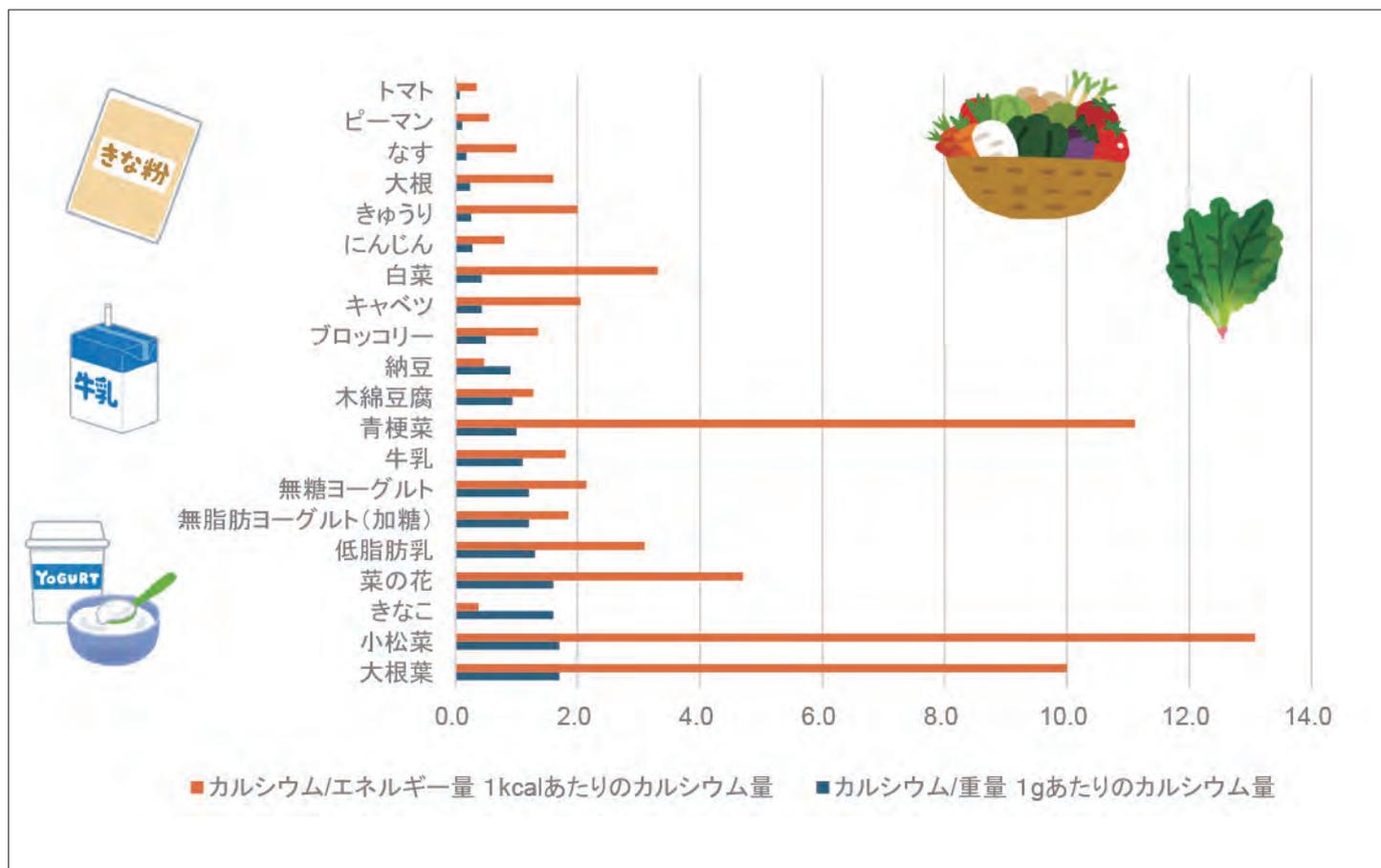
その点、野菜は低カロリー。野菜も他の食材と組み合わせて摂取することでカルシウムの供給に役立ちます。

たんぱく質やビタミンDはカルシウムの吸収を助ける栄養素。鮭やキノコ等を野菜と一緒に食べて、骨の健康を保ちましょう。

カルシウムの食事摂取基準 (mg/日)

性別 年齢等	男性				女性			
	推定平均 必要量	推奨量	目安量	耐容 上限量	推定平均 必要量	推奨量	目安量	耐容 上限量
0～5 (月)	—	—	200	—	—	—	200	—
6～11 (月)	—	—	250	—	—	—	250	—
1～2 (歳)	350	450	—	—	350	400	—	—
3～5 (歳)	500	600	—	—	450	550	—	—
6～7 (歳)	500	600	—	—	450	550	—	—
8～9 (歳)	550	650	—	—	600	750	—	—
10～11 (歳)	600	700	—	—	600	750	—	—
12～14 (歳)	850	1,000	—	—	700	800	—	—
15～17 (歳)	650	800	—	—	550	650	—	—
18～29 (歳)	650	800	—	2,500	550	650	—	2,500
30～49 (歳)	650	750	—	2,500	550	650	—	2,500
50～64 (歳)	600	750	—	2,500	550	650	—	2,500
65～74 (歳)	600	750	—	2,500	550	650	—	2,500
75以上 (歳)	600	750	—	2,500	500	600	—	2,500
妊婦(付加量)					+0	+0	—	—
授乳婦(付加量)					+0	+0	—	—

※日本人の食事摂取基準2025年度版



夜はカルシウムも含め、いろいろな栄養素の吸収が良い時間帯です。ただし、肉類の脂や乳脂肪を夜に摂るとコレステロールも上がりやすくなります。夕食は肉類がメインになるご家庭が多いと思いますが、湯豆腐や魚料理など、魚や大豆製品をメインにして野菜を多く入れるようにするとカルシウムがしっかり補給できます。特に青菜にはカルシウムが多く含まれるので、食卓に取り入れてみるのはいかがでしょうか？

《鮭と野菜の酒蒸し》

・塩鮭 100g、キャベツ 150g、小松菜 100g、ニンジン 15g、日本酒 20ml

(作り方) 野菜は食べやすい大きさに切り、フライパンに並べ、鮭をのせて弱火で15～20分蒸し焼きにする。骨がはがれると火の通った目安です。鮭の塩味が1 - 1.5g程度ありますが、ポン酢やみそだれ、ドレッシングなど好みの調味料を少し足して食べると。ごはんのおかずになります。
※ 100gで小松菜 170mg / 青梗(チンゲン)菜やほうれん草には 100mgのカルシウムが含まれます。



エネルギー 254kcal たんぱく質 26g ビタミン D 23μg カルシウム 255mg

令和7年度 全県訓練

(新興感染症などの感染症有事に係る訓練)に参加しました

2025年12月12日に、埼玉県が主催する令和7年度全県訓練（新興感染症などの感染症有事に係る訓練）が行われました。この訓練は、新興感染症等の発生を想定し、平時から健康危機に備えた体制を整備することを目的としたもので、埼玉県感染症対策課が中心となり、県内各保健所、当院の感染対策向上加算連携施設、そして当院が参加いたしました。

訓練の内容としましては、関越病院に受診した一類感染症の疑似症患者の当院への受け入れ要請から、受け入れ決定、職員の参集までの各種情報伝達についての図上訓練を行い、平行して実地訓練として個人防護具の着脱、保健所の車で搬送されてきた模擬患者の12号館病室への搬送、診察・採血、県衛生研究所への血液検体の提出までの一連の流れを実施いたしました。また、これらの内容は参加施設全体にWEBで配信して共有されました。訓練の最後には、参加者がそれぞれの施設で集まり、WEBも使用して意見交換を行いました。



準備段階でのシナリオすり合わせが難しかったことや訓練の時間が短かったこと、WEBの接続が難しかったこと、12号館の設備面の問題など、数多くの意見があがりましたが、新型コロナウイルス感染症発生当初の不安や恐怖などを思い出すきっかけとなったという感想も聞かれ、参加者全員が訓練の重要性を改めて実感できたと思います。今後も定期的に訓練を行い、新興感染症に対して適切に対応できるよう準備をまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



ロビーコンサート（クリスマスコンサート）を開催しました

2025年12月13（土）本館1階会計ロビーにて、埼玉医科大学混声合唱部の学生・OBによるクリスマスコンサートを開催しました。当日は外来患者さん、入院中の患者さん、面会にお越しいただいたご家族の方も足を止めて、多くの方にご鑑賞いただきました。



第14回 埼玉医科大学病院 市民公開講座を開催しました

2025年12月20日（土）第14回埼玉医科大学病院市民公開講座を開催し、約100名の方に参加いただきました。質問応答時間においても多くの方からの質問をいただき、講師の先生方との対話を通じて今回の内容に関して深くご理解いただけたことと思います。

当日参加いただけなかった方も、録画配信を「市民公開講座」サイトよりご確認ください。



アスリート通信

埼玉医科大学グループ アスリートクラブ

東日本実業団駅伝（男子）

2025年11月3日（月・祝）

プリンセス駅伝（女子）

2025年10月19日（日）

埼玉医科大学アスリートクラブ
(<http://www.smu-athlete.jp>)

〈東日本実業団駅伝〉

2025年11月3日（月・祝）に第66回東日本実業団駅伝が熊谷スポーツ文化公園内7区間76.4kmを走るコースで開催されました。本年よりコースが公道から公園内を走る1周4.1キロの周回コースに変更となり、アップダウンやカーブの多いコースを選手が走り抜けました。当院チームはニューイヤー駅伝の出場枠である13位以内を目指し3区の木樽選手が区間5位で走るなど選手は全力を尽くしましたが結果は15位でゴールとなり、惜しくもニューイヤー駅伝の切符



2区 ワンブア・タイタス 選手



4区 木樽杏祐 選手

符を獲得することは出来ませんでした。来年は必ず出場できるようチーム一同精進いたします。沢山のご声援ありがとうございました。



5区 中島弘太 選手



6区 長山瑞季 選手



7区 木山 凌 選手

〈プリンセス駅伝〉

2025年10月19日（日）福岡県宗像市、福津市を走る6区間42.195kmのコースでプリンセス駅伝（全日本実業団駅伝予選会）が開催されました。女子駅伝部は2度目のクイーンズ駅伝出場を目標としてレースに臨みました。序盤から前を追う展開が続きましたが選手は最後まで諦めず走り、結果は30位でゴールをしました。プリンセス駅伝の出場権を獲得することは出来ませんでしたがこの悔しさをバネに今後も頑張っ

－基本理念－ 当院は、すべての病める人に、満足度の高い医療を行うよう努めます。

病院の基本方針

1. すべての病める人々にまごころをもって臨みます。
2. 安心で質の高い医療を実践します。
3. まわりの医療機関と協力し合います。
4. 高い技能を持つ心豊かな人材を育成します。
5. より幸せとなる医療を求めた研究を推進します。

患者さんの権利

1. ひとりひとりが大切にされる権利
2. 安心で質の高い医療を受ける権利

3. ご自分の希望を述べる権利

4. 納得できるまで説明を聞く権利
5. 医療内容をご自分で決める権利
6. プライバシーが守られる権利

小児患者さんの権利

1. こどもが最善の治療を受けて生きる権利
2. こどもが暴力から守られる権利
3. こどもが能力を十分に伸ばせるような医療を受ける権利
4. こどもが自分の診療について自由に意見を述べる権利

外来受診のご案内

診療日 月曜日～土曜日

休診日 日・祝日、年末年始（12/29～1/3）

診察時間 9:00～17:00

受付時間 8:30～17:00（初診の方 8:30～11:00、12:30～14:00（土曜日を除く）※）

※紹介状をお持ちの方のみ（一部診療科は除く）になります。

紹介状をお持ちの方は、事前に予約センターで電話予約をしたうえでご来院ください。

電話番号 049-276-1179

受付時間 8:30～17:00（月曜日～土曜日（日・祝日を除く））

新型コロナウイルス感染症に対する対応

新型コロナウイルス感染症が「5類」に移行し、医療機関では高齢者など重症化リスクの高い人たちが集まるため、施設内において感染が拡がらないよう対策を続けていくことが求められています。

来院される際には今まで通り**手指衛生の実施**、院内では常に**マスク着用**をお願い致します。

最新の情報を元に、より良い感染対策を考え、患者さんに安心できる医療を提供できるようにこれからも取り組んでまいります。

駐車場のご案内



構内有料 駐車場

A 駐車場（障害者専用）、
B 駐車場、C 駐車場、
1ビル前駐車場（障害者専用）

→外来患者さんが最優先で駐車可能です。

構外提携 有料駐車場

上記以外のD-Parking
（白い看板）



→外来患者さんとお見舞いの方用になります。

検印

第1ビル駐車場管理室
本館1階警備センター

障害者手帳の交付を受けている方は、駐車券を手帳と一緒に割引処理窓口にご提出下さい。駐車料金が無料となります。

埼玉医科大学病院ニュース 第84号

発行日 2026年3月1日

発行責任者 病院長 篠塚 望

編集発行 埼玉医科大学病院 病院広報戦略室

TEL 049(276)1121

FAX 049(294)8222

www.saitama-med.ac.jp/hospital/index.html

